

## 第 7 回網走開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	平成 2 1 年 7 月 2 日 (木) 網走開発建設部 第 1 会議室	
委員	大島俊之 (北見工業大学教授)、高橋 清 (北見工業大学准教授)、 辻 修 (帯広畜産大学教授) (五十音順)	
議事	<p>1 平成 2 1 年度総合評価落札方式の実施 (予定) 工事及び平成 2 1 年度総合評価落札方式等の変更点について</p> <p>2 総合評価落札方式の実施状況について</p> <p>3 プロポーザル方式業務の審査について</p> <p>4 個別審査</p> <p>①平成 2 0 年度総合評価落札方式実施工事の事後審査について</p> <p>②平成 2 1 年度総合評価落札方式実施予定工事の事前審査について</p> <p>③プロポーザル方式業務の事後審査について</p> <p>④プロポーザル方式業務の事前審査について</p>	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
	意 見・質 問	回 答
	<p><b>【平成 2 1 年度総合評価落札方式の実施 (予定) 工事及び平成 2 1 年度総合評価落札方式等の変更点について】</b></p> <p>「総合評価項目改訂のポイントの主な変更点」の中で、CPDの扱いについて教えて欲しい。</p> <p>「自社の職業訓練指導員の活用を評価」とは何か。また、これを評価するのは、全道統一の方針なのか。</p> <p>今まで委員が主張してきた「地域精通度」の配分が大きくなったことは評価できる。地域の企業の技術力の向上等を支援する方向で評価方法を改善して行って欲しい。</p> <p><b>【総合評価落札方式の実施状況について】</b></p> <p>逆転率 7 %は妥当か。また、他の建設部の状況は如何。</p> <p><b>【プロポーザル方式業務の審査について】</b></p> <p>「業務」を審査していくことは了解する。</p> <p>1 件ごとに、「契約方式の妥当性の確認」と「技術提案の審査・評価結果の確認」の 2 回審査することになるが、どのように審査していくべきか。</p>	<p>CPDを評価する対象工事を4.5億円以上から2.5億円以上に引き下げ、対象工事を拡充した。</p> <p>技能士を指導する職業訓練指導員を工事の中で活用することに対して評価する。 網走独自の取組みである。</p> <p>委員の意見を踏まえ、良い方向に改訂していきたい。</p> <p>他の建設部の状況は把握していない。 7 %は結果なので、妥当かどうかの判断は難しい。平成 2 1 年度に評価項目を大幅に変えているので、平成 2 1 年度の結果を注視したい。</p> <p>毎週手続きが行われていることから、年 2 回の本委員会で網羅するのは難しいと思われるので、「個別訪問」による審査をお願いしたい。 具体的方法については、本委員会で審議していただきたい。</p>

委員ごとに分担し個別訪問審査を進め、次回の本委員会で確認する、と言う方法がある。

### 【個別審査】

#### ①平成20年度総合評価落札方式実施工事の事後審査について

##### ア 湧別川改修工事の内 湧別4号樋門地先河岸保護外工事(簡易型)

評価のための基準はあるか。

そのようにお願いしたい。

施工計画等の評価にあつては、工種ごとに内部評価基準を決めている。

#### ②平成21年度総合評価落札方式実施予定工事の事前審査について

##### ア 第1北見が丘トンネル工事(標準I型)

参加要件では「凍結対策を伴ったトンネル工事」の実績を求めているが、評価項目へは反映しないのか。

参加要件にて制限しており、加点対象とはしていない。

「地球環境に対する配慮」の1点は決まっているものなのか。加算点の総点数の大小で相対的に違うのではないか。

基本的に全道統一として、1工事1点としている。

##### イ ウトロ漁港人工地盤建設工事(標準II型)

入札説明書における「CPD推奨単位数等」の表現がわかりづらい。

全道統一の表現である。

#### ③プロポーザル方式業務の事後審査について

##### ア 開成橋検討業務

北海道横断自動車道訓子府町開成橋工事(高度技術提案型)と本業務とはどのような関係にあるのか。

本業務は、工事参加希望業者から提出された技術提案を「特定工事総合審査委員会」に諮るための資料について、検討整理するものである。

「開成橋設計業務」のコンサルとの関係は如何。

本業務は各社から提出された技術提案のうち、構造計算等のチェック等を行うものであり、設計思想等を検討するものではない。

#### ④プロポーザル方式業務の事前審査について

##### ア 国有港湾施設維持管理計画策定業務

業務についても内容にはよるが「地域精通度」を考慮することを考えていかなければならない。

今後、検討していきたい。